

《避難所運営協議会・防災講演会ご報告》

2月17日（土）18：00より鷹番住区センター地下レクリエーションホールにて、避難所運営協議会主催で『防災講演会』が行われました。

鷹番住区住民会議では「避難所運営協議会」を設立し、一時避難所になる「鷹番小学校部会」と「碑文谷体育館部会」に分かれてそれぞれの施設に合う避難所運営ルールなどを話し合っています。今回は全大会として防災に対する講演会を企画しました。

当日は、講師に菊池頭太郎氏をお迎えしました。菊池さんは「減災・防犯アドバイザー」であり、NPO法人日本防災士世田谷支部の理事も務めていらっしゃいます。これまでも東日本大震災他で実際に活動をなさってきた方です。今回は実地経験豊富な菊池さんに「災害に必要な知恵と備え～災害は常に想定外～」というテーマで講演頂きました。

小柳鷹番住区住民会議会長の挨拶の後、早速菊池さんの講演が始まりました。



講演はパワーポイントで行われ、ページ数で言うと80ページほどの分量がありました。実際の講演を基本になさっていらっしゃいますので、今回配布された資料はホームページに載せることは出来ません。

実際に活動をなさってきた方だから分かる・分かったことをたくさんお話し頂けました。私たちが日ごろ、防災に関して当たり前（このような時にはこのような行動をする。等）と思っていたことが、実際に発災した時には通用しない事がたくさんある事を知らされました。

経験に基づいたお話は説得力があり、歯に衣着せぬ講演は聞いていてとても参考になりました。



当日は土曜日の夜という時間設定でしたが、とてもたくさんの方々が熱心に講演を聴講していらっしゃいました。



菊池さんは減災・防犯アドバイザーとしての活動の中、今回は発災時に実際に役に立つグッズの数々をお持ちくださいました。

「防災グッズは普段は使わないものなので、本当に役に立つか？立たないか？分かりません。」というお言葉は全くその通りと感じました。役に立つ防災グッズについても様々教えて頂きました。参加者の皆様も熱心に質問されていました。

「何とかなる。」「誰かがやってくれる。」ではなく、一人ひとりが出来る備えをしていくことが発災時の減災に繋がることがよくわかりました。

鷹番住区住民会議避難所運営協議会では、発災時に少しでも多くの方々の

一助になる活動を行ってまいります。みなさま自分事と考えて一人でも多くの方々のご参加・ご協力をお願いいたします。

「鷹番住区住民会議避難所運営協議会」